

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 30 年 2 月 27 日改正
(平成 30 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：下呂市立たけはらこども園	種別：保育所
代表者氏名：進 藤 真紀代	定員（利用人数）： 120 名
所在地：岐阜県下呂市乗政1005番地1	
TEL：0576-26-2044	ホームページ： http://www.city.gero.lg.jp/kurashi/node_568/node_756/node_921/node_42127
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成25年11月18日	
経営法人・設置主体（法人名等）：下呂市	
職員数	常勤職員： 10 名 非常勤職員 17 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	園長 1 名
	保育士 8 名 保育士
	栄養士 1 名 栄養士
	調理員 1 名 調理員
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室5 遊戯室 ほふく室 医務室 調理室 事務室 相談室 未満児保育室 トイレ7 倉庫3 屋外遊戯室

③理念・基本方針（※転載）

【保育の理念】

子ども達が今を幸せに生活し、心豊かでたくましく未来（あす）を生きる力を育むとともに、地域における子育てを支援する。

「この地域特有の良さを活かし、大自然の中で遊ぶ体験をしたり、地域の人と様々な活動を通してふれ合いながらこの地域に愛着をもたせる。子どもの最善の利益を考慮しながら将来を担う子を育成していく。」

【保育方針】

- ・一人ひとりの子どもを大切にする保育をめざす。
- ・遊びや集団生活を通して、主体性・基本的生活習慣・道徳性を育む保育をめざす
- ・養護と教育が一体となって、豊かな人間性やたくましく生きる力の基礎を育てる保育をめざす。
- ・家庭、地域、学校との連携を深めながら、広い視野で子どもたちを見守り、育てる保育をめざす。

- ・地域の子育て支援の拠点と慣れる保育をめざす。
- ・食にかかわる体験を通して、食を楽しめる保育をめざす。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・大自然の中で遊ぶ体験をしたり、地域の人々と様々な活動を通してふれあいながらこの地域に愛着を持てるような取り組みをしている。
- ・生活や遊びの中に手話を交えながら歌を歌ったり指文字で数を数えたりしながら、手話に触れることで、人理解のきっかけを作っていくよう心がけている。
- ・生活環境が便利になった反面、大きく体を動かしたり、手先を使うことで少なくなった昨今、園では遊びを通して運動機能を高めることに取り組むとともに、家庭でも取り入れられる親子遊びを紹介する機会を設けながら、「体作り」に力をいれている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 6 月 1 日（契約日） ～ 平成 31 年 2 月 26 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初 回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<手話への取り組み>

手話を交えながらの歌を歌う等、手話に触れることで他者への理解を深める取り組みを行っている。

<地域との連携が密である>

「この地域特有の良さを生かし、大自然の中で遊ぶ体験を通し、地域の人々と様々な活動を通してふれ合いながらこの地域に愛着を持たせ、将来を担う子を育成していく。」という地域に根ざす方針のもとに、秋の実り祭り、がんどうち行事、地域の高齢者による縄ないの指導等を通じて、様々に交流を深めている。この地域は、子育てしやすい地域づくりに邁進しており、「竹原っ子会議」等の地域作り会議等に園長も参加し、情報発信している。そのため園への関心も深く、地域の人々もブルーベリー狩り、畑作り、あまごつかみ等で、積極的な協力を得ている。

<障がい児保育に力を注いでいる>

障がいのある子はわかば子ども園に設置している児童発達支援事業所、さくらんぼ教室に通所したり、近隣の公立病院の作業療法士・言語療法士等との連携体制ができている。

<保育サービスの質の向上に努めている>

期待する職員像を明確に示しており、自己評価チェック表・目標管理シートを活用し、期首の目標設定、期中、期末の面談を経て、目標達成状況の評価を行う取り組みを行っている。ま

た、日常的な保育状況の把握を通して、保育の質の向上に向けて課題分析し、改善に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

＜事業計画の充実と保護者に周知に向けたさらなる取り組みに期待したい。＞

事業全体を網羅できるように、事業計画のさらなる充実と計画の保護者等周知について、入園のしおりへの記載、年度初めの配布と説明等を行っているが、事業計画全体の要旨について、より分かりやすい資料作成や説明方法の工夫等、さらなる保護者への周知に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度、第三者評価を受けたことにより、園の職員全員で保育内容や保育の質を今一度見直し、共に高めていこうとする体制ができたように思います。評価の結果を受け、この園の今の課題に気付くことができました。この課題について職員全員が共通認識し、次年度へと繋げていくとともに、職員一人ひとりが課題を持って保育に取り組んでいけるようにしたいと思います。園を運営していく上での改善点である「事業計画の充実」については、『事業計画の内容を膨らませていくこと』『保護者への計画の周知に向けて、情報の提供を工夫していくこと』この二つのことを重点において、下呂市の児童福祉課と連携し、検討していきたいと考えています。今後も園児や保護者、地域からの信頼感や満足感を高めていけるような園運営を心がけていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。